



平成 22 年 6 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 22 年 2 月 12 日

上場会社名 株式会社かんな丸 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 7585 URL <http://www.kannanmaru.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）佐藤 栄治
 問合せ先責任者（役職名）管理部長（氏名）菊田 聡 TEL (048) 881-9056（代表）
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 2 月 12 日

（百万円未満切捨て）

1. 平成 22 年 6 月期第 2 四半期の業績（平成 21 年 7 月 1 日 ~ 平成 21 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第2四半期	3,000	8.8	179	29.1	180	32.4	100	30.0
21年6月期第2四半期	3,288		253		266		143	

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年6月期第2四半期	23	39		
21年6月期第2四半期	33	36		

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年6月期第2四半期	4,526		3,892		86.0		902 65	
21年6月期	4,342		3,861		88.9		895 45	

（参考）自己資本 22年6月期第2四半期 3,892百万円 21年6月期 3,861百万円

2. 配当の状況

（基準日）	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	-	-	-	16 00	16 00
22年6月期	-	-	-	-	16 00
22年6月期（予想）	-	-	-	16 00	-

（注）配当予想の当四半期における修正の有無： 無

3. 平成 22 年 6 月期の業績予想（平成 21 年 7 月 1 日 ~ 平成 22 年 6 月 30 日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	6,222	0.2	468	33.6	496	30.5	265	9.3	61	45

（注）業績予想数値の当四半期における修正の有無： 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 : 無
以外の変更 : 無
- (3) 発行済株式数(普通株式)
- | | | |
|-------------------|-------------|------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第2四半期 | 4,351,308株 |
| | 21年6月期 | 4,351,308株 |
| 期末自己株式数 | 22年6月期第2四半期 | 38,927株 |
| | 21年6月期 | 38,927株 |
| 期中平均株式数(四半期累計期間) | 22年6月期第2四半期 | 4,312,381株 |
| | 21年6月期第2四半期 | 4,314,128株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的に進行する金融不安による実体経済の低迷が継続するなか、円高の長期化による輸出企業の業績悪化が懸念される状況にあり、また、内需関連企業におきましても、デフレ色を示す経済情勢のもと収益力は低下傾向にあり、雇用情勢の悪化にも回復の兆しが見えておりません。個人消費におきましても、可処分所得の減少と生活防衛意識の高まりから減少傾向が継続しており、依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、物価の下落傾向及び個人消費の低迷を反映し、比較的安価な業態につきましては増収を果たしておりますが、一般的には減収傾向にあり、価格競争が激化する状況のもと、業界全体としての収益力低下が顕著になってきております。

こうした状況の下、当社は、当第2四半期会計期間において、「庄や」2店舗を開店いたしました。

この結果、当第2四半期会計期間の店舗数は、大衆割烹「庄や」37店舗、「日本海庄や」33店舗、無国籍料理「KUSHI949KYU」1店舗、カラオケスタジオ「うたうんだ村」6店舗、旬菜・炭焼「炉辺」2店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」3店舗、コーヒー専門店「ドートルコーヒーショップ」1店舗の合計83店舗となっております。

当第2四半期会計期間も既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、人材の発掘・登用を積極的に行い、また「わざわざご来店いただいたお客様」に感謝するためのきめ細かい施策を継続して実施してまいりました。

以上により、当第2四半期会計期間の業績は売上高1,600百万円（前年同四半期比6.7%減）、売上総利益1,133百万円（前年同四半期比5.6%減）、販売費及び一般管理費については996百万円（前年同四半期比3.7%減）となり、営業利益は136百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

経常利益につきましては135百万円（前年同四半期比22.4%減）となり、税引前四半期純利益は135百万円（前年同四半期比18.5%減）、四半期純利益は78百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における資産の状況は、現金預金を主とした流動資産の増加156百万円、新規出店等に伴う有形固定資産の増加137百万円、減価償却費の計上による有形固定資産の減少等143百万円により、総資産4,526百万円（対前事業年度末比183百万円増）となりました。

負債は、買掛金の増加67百万円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加83百万円等により、633百万円（対前事業年度末比152百万円増）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により3,892百万円（対前事業年度末比31百万円増）となりました。

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期会計期間末に比べ175百万円増加し、1,445百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において営業活動の結果得られた資金は255百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益135百万円、減価償却費73百万円であり、仕入債務の増加額71百万円、支出の主な内訳は、未払消費税の減少額13百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において投資活動の結果使用した資金は110百万円（前年同四半期比28.4%増）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による45百万円、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出115百万円、定期預金の預入による支出16百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において財務活動の結果獲得した資金は30百万円（前年同四半期比199.6%増）となりました。

収入の主な内訳は、長期借入金による収入50百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金による支出9百万円及び配当金の支払額7百万円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年6月期の業績予想については、平成21年8月14日に公表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(固定資産の減価償却費の算定方法)

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,467,475	1,327,740
売掛金	41,629	31,736
商品	179	125
原材料	39,686	33,297
その他	109,129	108,475
貸倒引当金	49	38
流動資産合計	1,658,050	1,501,335
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,556,196	1,562,226
その他(純額)	334,692	333,793
有形固定資産合計	1,890,889	1,896,020
無形固定資産		
投資その他の資産	15,094	15,420
敷金及び保証金	799,645	781,650
その他	263,422	244,432
貸倒引当金	100,742	95,884
投資その他の資産合計	962,326	930,198
固定資産合計	2,868,310	2,841,639
資産合計	4,526,360	4,342,974
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,216	122,497
1年内返済予定の長期借入金	38,898	18,061
未払法人税等	80,200	88,977
賞与引当金	2,753	3,017
その他	254,559	248,917
流動負債合計	566,627	481,471
固定負債		
長期借入金	62,776	-
長期前受収益	4,403	-
固定負債合計	67,179	-
負債合計	633,807	481,471

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,562,350	3,530,477
自己株式	35,018	35,018
株主資本合計	3,890,932	3,859,059
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,620	2,444
評価・換算差額等合計	1,620	2,444
純資産合計	3,892,553	3,861,503
負債純資産合計	4,526,360	4,342,974

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成20年 7 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成21年 7 月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	3,288,696	3,000,786
売上原価	989,318	879,949
売上総利益	2,299,378	2,120,837
販売費及び一般管理費	2,046,032	1,941,134
営業利益	253,345	179,703
営業外収益		
受取利息	1,103	327
協賛金収入	12,209	3,933
その他	2,422	1,895
営業外収益合計	15,735	6,157
営業外費用		
支払利息	271	275
貸倒引当金繰入額	1,910	4,858
その他	409	473
営業外費用合計	2,591	5,606
経常利益	266,489	180,253
特別利益		
前期損益修正益	2,028	-
受取補償金	45,024	-
特別利益合計	47,052	-
特別損失		
固定資産除却損	11,780	-
貸倒損失	-	2,075
特別損失合計	11,780	2,075
税引前四半期純利益	301,762	178,177
法人税、住民税及び事業税	131,352	73,407
法人税等調整額	26,482	3,898
法人税等合計	157,835	77,305
四半期純利益	143,926	100,871

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,716,505	1,600,816
売上原価	515,826	467,796
売上総利益	1,200,678	1,133,020
販売費及び一般管理費	1,034,993	996,257
営業利益	165,684	136,762
営業外収益		
受取利息	49	39
協賛金収入	10,126	3,291
その他	1,019	598
営業外収益合計	11,196	3,929
営業外費用		
支払利息	113	212
貸倒引当金繰入額	1,910	4,706
その他	192	286
営業外費用合計	2,215	5,205
経常利益	174,665	135,486
特別利益		
前期損益修正益	2,028	-
受取補償金	2,144	-
特別利益合計	4,172	-
特別損失		
固定資産除却損	11,726	-
その他	849	-
特別損失合計	12,576	-
税引前四半期純利益	166,261	135,486
法人税、住民税及び事業税	73,055	58,041
法人税等調整額	9,056	756
法人税等合計	82,111	57,284
四半期純利益	84,149	78,202

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	301,762	178,177
減価償却費	156,991	143,076
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,910	4,869
賞与引当金の増減額(は減少)	587	264
受取利息及び受取配当金	1,538	696
支払利息	271	275
有形固定資産除却損	11,780	-
売上債権の増減額(は増加)	611	9,893
たな卸資産の増減額(は増加)	541	6,442
仕入債務の増減額(は減少)	65,225	67,719
その他	10,527	10,393
小計	545,190	387,213
利息及び配当金の受取額	1,538	696
利息の支払額	260	303
法人税等の支払額	49,649	82,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,818	305,352
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	32,604	32,317
定期預金の払戻による収入	33,600	45,000
有形固定資産の取得による支出	117,893	137,619
敷金及び保証金の差入による支出	2,220	22,628
敷金及び保証金の回収による収入	3,425	2,425
その他	2,354	16,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	113,337	161,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	10,000	4,996
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	24,595	16,387
自己株式の取得による支出	1,562	-
配当金の支払額	81,741	68,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	97,898	9,862
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	285,581	153,617
現金及び現金同等物の期首残高	927,452	1,291,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,213,033	1,445,028

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。